

校長も無理難題に挑戦する浦高！

●校庭を人工芝生で覆いたい！

今朝はお盆を前にして家の芝刈りを行いました。8月に入って天気が良いので芝の発育も良いようです。芝は肥料と水をあげて1~2週間に1回程度刈り込んでいけば手入れが行き届くと聞いたことがあるのですが、なかなかそれだけの手入れはできませんね。

さて、そんな芝生について浦高同窓会が熱くなりつつあります。昨年4月から第30代校長に就任された小島克也先生(高30回卒)が同窓会常任理事会や総会などの席上で「数名の教師から浦高グラウンドを人工芝化したいと言われ、私も生徒たちに日頃から『無理難題に挑戦しろ』と言っているの、埼玉県に頼んでも無理だと言われている校庭の人工芝化に挑戦したい」と言われる姿を拝見していたのですが、いよいよ同窓生の中から「浦和高校部活応援プロジェクト」(下記提案 Facebook より)が立ち上がったことを知りました。

浦和高校同窓会会員の皆様

浦和高校のスポーツ・文化活動環境を改善する取組みについて (ご提案)

母校浦和高校は「尚文昌武」を合言葉に全人教育に取り組まれてきました。かつて、諸先輩方もそうであったように、現役生徒も勉強だけではなく、部活動にも熱心に取り組む、近年では、ラグビー花園出場、全国高校クイズ選手権での度々の優勝、グリー部の全国大会金賞受賞など、私たち卒業生にとっても実に嬉しく頼もしい知らせが、毎年のように聞こえてきます。本年も、ラグビー部が、県新人戦で43年ぶりに優勝し、続けて春の県大会においても45年ぶりの優勝を飾ったところです。

後輩たちのこのような活躍が聞こえてくることは、とても楽しみなのですが、ひるがえって、彼らが日々練習に取り組んでいる環境は、あまり良い状態にあるとは言えません。先生方のご尽力により、全国に誇るソフトとハードがある一方で、ハードは必ずしも誇れるものではないことは、皆様もお感じになられているのではないのでしょうか。

恵まれた環境にすることばかりが良いとは言えませんが、昨年、浦和南高校サッカー部が全国選手権に出場した背景には、グラウンドの人工芝化により充実した練習が行えるようになったことがあるとも言われています。全国的にみても、ラグビーやサッカーの強豪校の多くが芝生(人工芝)のグラウンドを持ち活動しています。

これまで、同窓会では、100年の森や奨学金財団など、高校同窓会としては全国初ともいえる先駆的な取組みを進めてこられてきましたが、現役生の日々の活動を広く応援する取組みは継続的には行われていません。

そこで私たちは、浦和高校のグラウンドの人工芝化など部活動の環境改善にむけて取組み、各部の活動のさらなる活性化と、各部OB会の継続的な運営体制と連携の仕組みづくりを進めたいと考えました。

これにより、ソフト・ハード・ハートの全ての面から現役生の活動の充実を図れるとともに、OBの皆様が様々な面で母校と関係を持ち続ける場ができると考えます。

また、この取組みを浦和高校内に閉ざすことなく、スポーツや文化活動を通して、幅広い年代・分野の人々の交流の活性化や健康増進につなげることで、社会課題の解決に貢献していきたいとも考えています。

私たちは、現役時代に、学校の周囲の街の方々に大変お世話になってきました。その恩返しをすることで、さらに地域に愛され続ける学校づくりにもつながるものと期待します。

このような取組みは、公立高校では全国的にも珍しいものであり、浦和高校が率先して取組むことで、これまでの活動と同様に、地域と学校、学校と卒業生の新しいあり方を、社会に大きなインパクトをもって発信されることと思えます。

近々に、具体的な活動にむけた会合を持ちたいと思います。

主旨にご賛同いただける方、ご関心を持っていただけた方は、ぜひご連絡をいただければと思います。

なにとぞ、よろしくお願いいたします。

2019.5.26

(発起人) 高校30回 松井幸宏、村井満(J)、持田健生
高校32回 小野崎研郎

高校31回 田口智雄、小林利成
高校37回 門脇正法

浦和から学校部活動の新しい形を創造しよう！

ハードを整える
施設改善
(人工芝化等)

ソフトを整える
地域開放
OB会活性化

競技力
向上

怪我
防止

地域
貢献

学校行事
や授業の
安定運営

浦和から全国に発信



柔道部 OB で元常任理事の五十里光彦さん(高29回卒)も NPO 法人グリーンスポーツ鳥取代表のニール・スミス氏の講演「芝生から始まる体づくり」<https://www.youtube.com/watch?v=hYTI85vXUI8>などを紹介され応援しています。スミスさんは『芝生』とは種類を問わないで草や芝を頻繁に刈って出来上がった転んでも痛くない絨毯のような形状の場」と説明しています。幼稚園、小中学校、公園が芝生化され、活動頻度の高い高校は人工芝かもしれないが、地域が頻繁に刈り込まれた芝生に覆われたら素晴らしい環境になるでしょうね。来月9月1日の春日部地区浦高会総会後のスピーチに小島浦高校長をお招きしているので熱い思いを伺うことになりそうです。小島校長の「無理難題への挑戦」が実を結ぶことを祈ります。